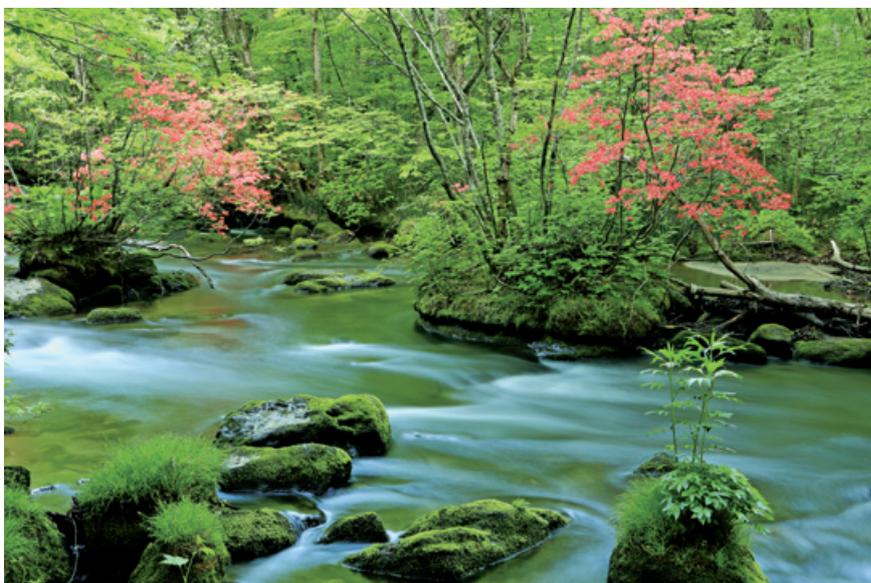


第**58**期

年次報告書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

旅でもっとつながる世界へ。
好奇心でもっと感じる世界へ。



株主の皆さまへ

当期（第58期）の業績

株主の皆さまには、平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。第58期の事業活動をご報告申し上げます。

当社グループは、当社の新規事業である訪日外国人観光客向けのインバウンド事業を確立すべく、多くの海外企業との提携案件等の実現に向け活動するとともに、訪日外国人観光客向け『DiGJAPAN!』アプリ並びに『DiGJAPAN!』ウェブサイトの強化を通じて地方自治体との提携などの取り組みを積極的に展開いたしました。

平成28年11月にモバイル決済ソリューションシステムなどを展開しているQFPay社らと共同で合弁会社QF Pay Japan株式会社を設立いたしました。また、平成29年3月に株式会社トラベラーズより海外旅行者向けレストラン予約サービス『グルヤク』事業を譲り受けました。

当期は、電子売上はナビゲーション売上の減少や継続的であった大型案件の失注等により大幅に減少いたしました。市販出版物におきましても、『首都圏発 日帰り大人の小さな旅』等の一部ヒット商品があったものの、第1四半期と第4四半期において改訂商品の入れ替えによる返品が想定を大きく超過したため、売上高は大幅に減少いたしました。

この結果、当社グループの売上高合計は、前連結会計年度に比べ27億20百万円（20.9%）減少し、103億14百万円となりました。

損益面では、大幅な売上高の減少に加え、人事制度変更に伴う賞与引当金計上額の増加、取引先である地図専門取次の破産に伴う貸倒引当金の増加、当社地図データベースの改善施策を前倒し実施したことによるメンテナンス費用の増加等もあり製造原価、販売費及び一般管理費ともに増加いたしました。

これによりまして、営業損失は22億76百万円（前連結会計年度は営業利益3億6百万円）、経常損失は22億6百万円（前連結会計年度は経常利益3億63百万円）となりました。また、当社グループが保有する固定資産について特別損失として12億3百万円の減損損失を計上した結果、親会社株主に帰属する当期純損失は34億23百万円（前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純利益5億38百万円）となりました。



『DiGJAPAN!』
ウェブサイトとアプリ



海外旅行者向けレストラン予約サービス『グルヤク』



代表取締役社長

黒田 茂夫

当期の配当

当期の剰余金の配当は、普通配当を1株につき20円とさせていただきます。なお、配当金は「その他資本剰余金」を配当原資とさせていただきます。

次期（第59期）の見通し

次期の主な取り組みとしましては、当期に策定したグループ全体の事業構造改革に基づき新たな体制で実施してまいります。インバウンド事業におきましては、利便性の高いサービスを引き続き提供し、有力海外企業との提携を行い、サービスを普及させてまいります。また、出版事業におきましては、出版物連携のアプリ『まっぷるリンク』による市販出版物の売上拡大と新たな事業構築を目指すとともに、「ことりっぷ」のブランド展開も進めてまいります。

業績面では、市販出版物では新刊のムックシリーズの出版や徹底した市場在庫管理による返品抑制、電子売上ではインバウンド事業拡大や新サービス提供により、売上高は改善する見通しとなっております。利益につきましても、売上高の改善に加え、制作拠点の集約と内製化による効率化により改善する見通しとなっております。

このような状況のもと、売上高は116億円（当連結会計年度比12.5%増加）、経常利益1億20百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1億円を見込んでおります。

株主の皆さまにおかれましては、なお一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

事業構造改革と子会社の吸収合併

専門部署での検討結果に基づき平成30年3月期より以下のグループ全体の事業構造改革を実施しております。

①体制変更

各事業の利益責任を明確にするための3事業本部制の導入および全部門を対象とした人員の適正化

②データベース制作部門の子会社集中による効率化と体制強化

データベース制作業務を子会社に集約、また外部発注業務の内製化による生産効率の向上、あわせてその位置付けを明確にするため株式会社昭文社デジタルソリューションから株式会社昭文社クリエイティブに商号変更

③子会社キャンバスマップル株式会社の吸収合併

カーナビ事業の推進強化と効率化及び開発人材の有効活用

④業績連動人事制度の導入

全社員を対象とする利益重視への意識改革の推進

上記改革により、厳しい事業環境においても業績拡大が実現できる体制を構築してまいります。



「ことりっぷ」ブランドの展開事例

「ことりっぷ」ブランドの展開

累計発行部数が1,500万部を突破した人気ガイドブック「ことりっぷ」シリーズについて、国内版を平成28年7月に18点、平成29年2月に16点全面改訂を行いました。

また季刊「ことりっぷマガジン」や公式サイト「ことりっぷWEB」の情報をベースに編集した『ことりっぷマガジン特別編集版』として『東京案内』『京都案内』『東京からの小さな旅』を発売いたしました。

自治体などからの受注により『ことりっぷ茅ヶ崎』『ことりっぷ上尾』『ことりっぷ久喜』『ことりっぷTAKAO』『ことりっぷガーデンネックレス横浜2017花と緑の横浜さんぽ』など小冊子の制作も行なっております。

また、ことりっぷと各社とのコラボレーションにより、ご当地ポテトチップスや豆乳飲料、駅弁といった食品のほか傘やシューズも発売いたしました。ブランドライセンス供与により、バッグ、旅こもの、ステーションナリーも展開しています。

『日帰り 大人の小さな旅』シリーズ

「思い立ったらすぐ行ける」「ちょっとした発見がある」「おしゃれでちょっと贅沢」をコンセプトにした『首都圏発 日帰り 大人の小さな旅』は発売3ヶ月で発行部数10万部を超えるベストセラーとなり、『札幌発』『名古屋・東海版』『京阪神発』『福岡発』と全国にシリーズを拡張しています。

首都圏発は秋冬の大人のおでかけをご提案する『特別編集①』や人気のエリアをさらに深掘りした『vol.2』も発売いたしました。

「大人の街めぐり・大人の遠足・大人の美味しい旅」をテーマに構成し、その地域にお住まいの方にとっても新たな発見のある旅を提案しています。



『日帰り 大人の小さな旅』

連結財務諸表

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

科 目	第57期	第58期
	平成28年3月31日現在	平成29年3月31日現在
資産の部		
流動資産	17,191	14,528
固定資産	10,871	10,022
有形固定資産	6,746	6,533
無形固定資産	742	9
投資その他の資産	3,383	3,479
資産合計	28,063	24,550
負債の部		
流動負債	4,202	4,113
固定負債	2,207	1,276
負債合計	6,410	5,390
純資産の部		
株主資本	21,293	18,524
資本金	9,903	10,141
資本剰余金	10,708	10,945
利益剰余金	1,206	△ 2,561
自己株式	△ 525	—
その他の包括利益累計額	332	608
新株予約権	27	27
純資産合計	21,652	19,160
負債純資産合計	28,063	24,550

連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

科 目	第57期	第58期
	平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで	平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで
売上高	13,035	10,314
売上原価	8,253	8,405
返品調整引当金繰入差額	406	△ 223
売上総利益	4,375	2,132
販売費及び一般管理費	4,068	4,409
営業利益又は営業損失(△)	306	△ 2,276
営業外収益	92	105
営業外費用	36	35
経常利益又は経常損失(△)	363	△ 2,206
特別利益	173	0
特別損失	2	1,221
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	533	△ 3,427
法人税等合計	△ 4	△ 3
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	538	△ 3,423

連結損益計算書のポイント

電子売上では簡易型カーナビゲーション用アプリケーションソフト『マップルナビ』の売上減少に加え、以前より継続的であった大型案件の失注を補える新規案件が想定どおりに獲得できず売上は減少しました。市販出版物においても予想を超える返品があり、売上は前年同期を大きく下回りました。この結果、売上高は前年同期比20.9%減少し、103億14百万円となりました。

損益面では、売上高の大幅な減少や返品増加に加え、退職給付費用や人事制度変更による賞与引当金計上額の増加により、製造原価、販売費及び一般管理費共に高騰いたしました。その結果、営業損失は22億76百万円(前年同期は3億6百万円の営業利益)となりました。また、当社及び子会社が保有する固定資産について減損損失したことにより、親会社株主に帰属する当期純損失は34億23百万円となりました(前年同期は親会社株主に帰属する当期純利益5億38百万円)。

財務諸表の詳細は当社ホームページをご覧ください。URL <http://www.mapple.co.jp/corporate/ir/>

連結貸借対照表のポイント

流動資産

商品及び製品が3億73百万円増加したものの、現金及び預金が10億23百万円、受取手形及び売掛金が8億74百万円、有価証券が8億25百万円減少し、流動資産は26億62百万円の減少の145億28百万円となりました。

固定資産

有形固定資産は償却の進行に加え、運搬具、工具器具備品において減損損失を計上したため、2億12百万円減少し、65億33百万円となりました。

無形固定資産は、データベース、ソフトウェアにおいて減損損失を計上したため、7億33百万円減少し、9百万円となりました。

投資その他の資産は、退職給付に係る資産が1億70百万円増加した一方で、投資有価証券が64百万円減少し、95百万円増加の34億79百万円となりました。

以上から固定資産は8億49百万円減少し、100億22百万円となりました。総資産は35億12百万円減少し、245億50百万円となりました。

負債

転換社債型新株予約権付社債の新株予約権行使により、社債が10億円減少し、負債は10億20百万円減少の53億90百万円となりました。

純資産

行使された新株予約権に対し自己株式を割り当てたため、自己株式が5億25百万円、資本金及び資本剰余金それぞれ2億37百万円の増加要因があった一方で、剰余金の配当、当期純損失の計上によって、利益剰余金は37億68百万円減少しました。この結果、純資産は24億92百万円減少し、191億60百万円となりました。

自己資本比率

自己資本比率は0.8ポイント改善し77.9%となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円)

科 目	第57期	第58期
	平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで	平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	△ 942	△ 787
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 524	△ 1,185
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 366	△ 354
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△ 1,832	△ 2,326
現金及び現金同等物の 期首残高	11,782	9,949
現金及び現金同等物の 期末残高*	9,949	7,899

※新規連結子会社の現金及び現金同等物の増加額276百万円を含んでおります。

連結キャッシュ・フロー計算書のポイント

営業活動によるキャッシュ・フローは、7億87百万円の支出となりました。主な要因は税金等調整前当期純損失を34億27百万円計上した一方で、減損損失12億3百万円、売上債権の減少額8億74百万円があったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、11億85百万円の支出となりました。主な要因は有価証券の償還による収入8億円があった一方で、有価証券取得による支出13億3百万円、無形固定資産の取得による支出6億23百万円があったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、3億54百万円の支出となりました。主な要因は配当金の支払額3億33百万円によるものです。

現金及び現金同等物の残高は株式会社トリプコンを連結子会社に含めたことによる、現金及び現金同等物の増加額を含め、前期末から20億49百万円減少し、78億99百万円となりました。

会社情報 (平成29年3月31日現在)

会社概要

商号	株式会社昭文社 (Shobunsha Publications, Inc.)
創業	昭和35年5月
本社所在地	東京都千代田区麹町三丁目1番地
資本金	101億41万円
従業員数	単体394人、連結467人
事業所	本社 東京都千代田区
	大阪支社 大阪市淀川区
	制作本部 東京都江東区
	仙台営業所 仙台市若林区
	横浜営業所 横浜市西区
	名古屋営業所 名古屋市千種区
	福岡営業所 福岡市中央区
	東京商品センター 東京都足立区
	大阪商品センター 大阪府摂津市
	埼玉製本センター 埼玉県加須市

役員 (平成29年6月29日現在)

代表取締役社長	黒田 茂夫
取締役	大野 真哉
取締役	清水 康史
取締役	※安藤 敬太郎
取締役 監査等委員	渡邊 裕
取締役 監査等委員	※関 聡介
取締役 監査等委員	※桑野 雄一郎

※社外取締役

関係会社

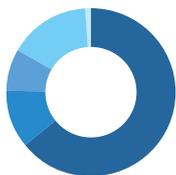
キャンバスマップ株式会社	東京都千代田区
平成29年4月1日付で当社を存続会社とする吸収合併を行いました。	
株式会社マップル・オン	東京都千代田区
株式会社昭文社デジタルソリューション	千葉県市原市
平成29年4月1日付で株式会社昭文社クリエイティブに商号変更しております。	
株式会社トリパコン	東京都千代田区
QF Pay Japan株式会社	東京都港区

株式情報 (平成29年3月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	57,000,000株
発行済株式の総数	18,178,173株
株主数	22,130名

所有者別株式分布状況



所有者区分	持株比率 (%)
個人・その他・自己名義	64.2
金融機関	11.3
外国法人等	8.0
その他の法人	15.6
金融商品取引業者	0.9

株式についてのご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日 (中間配当を行う場合)
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel 0120-232-711 (通話料無料)
公告方法	電子公告 公告掲載URL http://www.mapple.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします)
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所
証券コード	9475

お知らせ

- 株主様の住所変更、買取請求、配当金の振込指定、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関 (証券会社等) で承ることとなります。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人 (三菱UFJ信託銀行) ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関 (三菱UFJ信託銀行) にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店で支払いいたします。

大株主 (自己株式を除く上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
黒田 敏夫	3,574	19.66
黒田 茂夫	1,699	9.34
株式会社エムティーアイ	1,596	8.78
MSCO CUSTOMER SECURITIES	971	5.34
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社 (信託口)	921	5.06
昭文社社員持株会	701	3.85
株式会社MGSHD	437	2.40
株式会社三井住友銀行	347	1.91
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社 (信託口)	207	1.13
株式会社ファウンダー・マップル	180	0.99

株主優待のご案内

当社では、当社の事業についてより深くご理解いただきたく、株主優待制度として、平成29年3月末日現在、100株以上ご所有の株主様に3,000円相当の当社商品を進呈しております。

今年は新刊ムックシリーズ『ノッテミテ』より北海道を1冊と株主様のお届出住所に該当する地域の『スーパーマップルB5版』シリーズ1冊 (新潟県の株主様には『街の達人』1冊、沖縄県の株主様には『GIGAマップル』1冊) をお送りいたします。

株主優待品は7月中の発送を予定しております。

株主優待品の発送についてのお問い合わせ

株主優待事務局 (平成29年9月末まで)

0120-770-383

(受付時間 9:00~17:00/土・日・祝日を除く)

電車やバスなどの公共交通機関のみを利用して、人気のエリア・観光スポットを楽しむ方のための情報満載旅行ガイド『ノッテミテ』



表紙の写真

表紙右上の写真は、新緑の奥入瀬渓流 (青森県) (当社社員が撮影した写真を使用しました)